

DRV-410

スタンダード ドライブレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、
説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



My-Kenwood (ユーザー登録)のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

安全上のご注意(必ずお守りください) ..3	各種設定をする.....20
使用上のご注意.....7	MENU (メニュー)で操作する.....20
取り付け上のご注意.....7	システムのアップデートについて.....22
使用上のご注意.....7	日付と時刻を設定する.....23
本機のお手入れ.....7	PCアプリケーションを使う.....24
本機の異常にお気づきのときは.....7	ソフトをインストールする.....24
取り付けかた.....8	ファイルを再生する.....24
取り付け手順.....8	映像から静止画を出力する.....27
配線のしかた.....10	走行情報を出力する.....27
各部の名称とはたらき.....11	ファイルをバックアップする.....27
運転支援機能を使用する前に.....12	故障かな?と思ったら.....28
車両に合わせて調整する.....12	付録.....31
基本操作.....14	運転支援機能について.....31
SDカードを入れる/取り出す.....14	モニター画面について.....31
電源をオン/オフする.....14	GPSについて.....31
SDカードをフォーマットする.....14	商標、ソフトウェアに関する 重要なお知らせ.....31
録画モード.....15	SDカードについて.....32
録画する.....17	フォルダ/ファイル構成.....32
任意の場所で録画する(手動録画)17	録画時間.....33
任意の場所で録画する(強制録画)17	録画ファイル数.....33
写真を撮影する.....17	KENWOOD DRIVE REVIEWER 動作環境.....33
再生する.....18	仕様.....34
ファイルを再生する.....18	保証とアフターサービス.....35
ファイルを保護または削除する.....19	
再生メニューで操作する.....19	

- 本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。
- 本書では、特に断りがない限りmicroSDHCカードをSDカードと表記して説明しています。
- 最新の取扱説明書やファームウェアアップデート情報などを当社ホームページで提供しています。下記ウェブサイトでご確認ください。
<http://www.kenwood.com/jp/cs/car/>

安全上のご注意(必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

 注意 (しなければならない)の内容です。

 禁止 (してはいけない)の内容です。

 実行 (かならず行っていただく)の内容です。

免責事項について

・お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

・録画・撮影・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

取り付けや配線について

警告



本機はDC12V[アース車以外で使用しない]
火災や故障の原因になります。DC12V[アース車以外で使用しないでください。]

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない
交通事故やケガの原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

本機は保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない
視界不良や本機がはずれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。



取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなど小物部品やメモリーカードは乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

本機に付属のシガープラグコードを使用する
付属以外のシガープラグコードを使用すると、火災、感電の原因となります。

シガープラグは、確実に差し込む
確実に差し込めない場合、接触不良により火災、感電の原因となります。

シガープラグを抜くときは、プラグを持って抜く
コードが破損し火災、感電の原因となります。

使用後または長時間使用しないときは、シガープラグを抜く
車種によってエンジンを切ってもシガーソケット電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。

シガープラグは定期的に清掃する
ほこりが付着していると火災の原因となります。



ぬれた手でシガープラグを抜き差ししない
感電の原因となります。

注意



水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

使用方法について

警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止して電源コードを本機から外してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、電源コードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談ください。

注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



走行前に本機の取り付け状態を点検する

本機の脱落、落下等により、けがや交通事故の原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

使用上のご注意

取り付け上のご注意

- ・フロントガラスの上部からフロントガラス全体の20%の範囲内、または運転者の前方視界を妨げない(ルームミラーで隠れる位置)位置に取り付けてください。
- ・ワイパーのふき取り範囲に入るように取り付けてください。
- ・ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・車検証ラベルなどに重ならないよう注意して取り付けてください。
- ・運転やエアバッグ動作の妨げにならないよう注意して取り付けてください。
- ・本機を運転支援システム搭載車に取り付けるときは、車両の取扱説明書を確認して運転支援システムの妨げにならない場所を選んで取り付けてください。
- ・誤った取り付けをした場合は、イベント記録や駐車録画が正しく動作しないことがあります。固定ノブの緩み、取り付け方向、取り付け角度など「取り付けかた」を参照して本機を正しく取り付けてください。(→ P.8)
- ・本機を地上デジタルテレビ受信アンテナの近くや、電装品の近くに設置しないでください。テレビの受信感度の低下やちつきノイズの原因になる可能性があります。
- ・市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取りマウントベースを固定してください。再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり本機が落下する恐れがあります。
- ・本機を取り付け後、取付ブラケットの接着力を強くするため、取り付け後24時間以上放置してから使用してください。取付ブラケットの接着力が弱くなりはがれ落ちる可能性があります。
- ・コード類は、運転操作の妨げにならないようテープ等でまとめてください。

使用上のご注意

- ・カメラのレンズをふさいだり、汚したり、レンズの近くに反射物を置かないでください。
- ・LED式信号機を撮影した場合、信号機がちらついたり点滅しているような映像が録画される場合があります。また信号機の識別や録画に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・自動車のフロントガラスにコーティング剤が使用されている場合は、録画品質に影響が出る可能性があります。
- ・本機はあらゆる状況においての映像の録画を保証するものではありません。

本機のお手入れ

- ・本機が汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のものでも拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- ・レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこすると傷の原因になります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」(→ P.28)を参照して解決方法がないかお調べください。

解決方法が見つからないときは、本機の[MENU/OK]ボタンを25秒以上押し続けて本機をリセットしてください。本機をリセットした後、電源がオフのときは、1秒以上[MENU/OK]ボタンを押すと電源がオンします。(→ P.11)

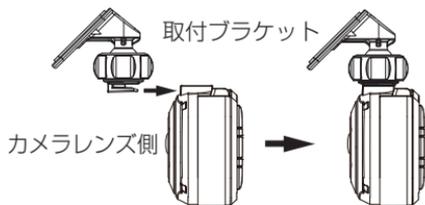
リセットしても正常に戻らないときは、本機の電源を切り、お買上げの販売店またはお近くの当社サービス窓口へ相談してください。

取り付けかた

取り付け手順

車が水平な場所に駐車していることを確認します。

1. 本機を取付ブラケットに取り付ける
本機のブラケット取付部に取付ブラケットを差し込み、本機に取り付けます。



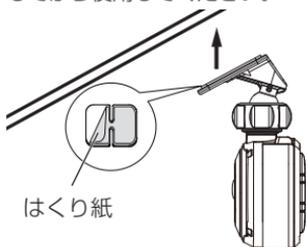
2. 本機の取り付け位置を決める

推奨取り付け位置を参考にして取り付け位置を決めてください。また、国土交通省の定める保安基準*に適合するように取り付けてください。

*保安基準：道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第195条

3. 取り付ける面をきれいにしてフロントガラスに貼り付ける

市販のクリーニングクロスなどで取り付け場所の汚れや脂分をきれいに拭き取ってください。取付ブラケットの両面テープのはくり紙をはがし、フロントガラスに押しつけて取付ブラケットを貼り付けます。取付ブラケットの取付強度を強くするため取り付け後、24時間以上放置してから使用してください。



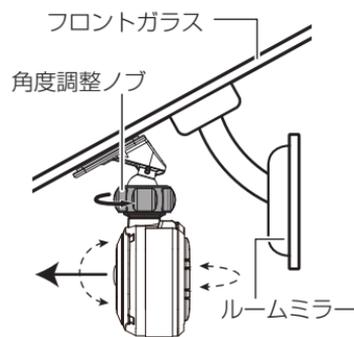
4. コードを配線する

「配線のしかた」を参照して配線します。(→ P.10)

5. 本機の取り付け角度を調整して固定する

調整前に角度調整ノブを右に回しておきます。取り付け角度を調整するときは、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また空と地上との比率が同じであることを確認してください。取付角度を調整したら、取付ブラケットの角度調整ノブを左に回して固定します。

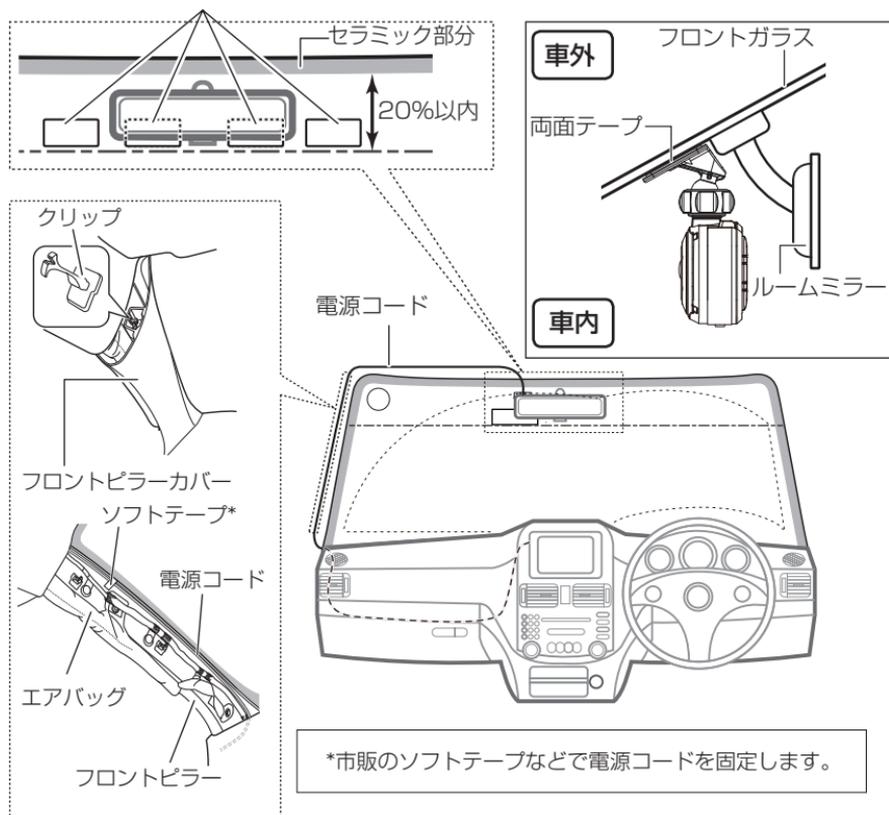
調整例



- ・運転支援機能を使用するときは、「車両に合わせて調整する」の調整が必要です。(→ P.12)
- ・「車両に合わせて調整する」の調整は、見通し距離が200mほどある平らな場所で行ってください。(→ P.12)

推奨取り付け位置

- ・フロントガラスの上部からフロントガラス全体の20%の範囲内、または運転者の前方視界を妨げない(ルームミラーで隠れる位置)位置に取り付けてください。
- ・ワイパーのふき取り範囲に入るように取り付けてください。
- ・本機をルームミラー後部のフロントガラス中央部に取り付けると最適な映像を録画できます。



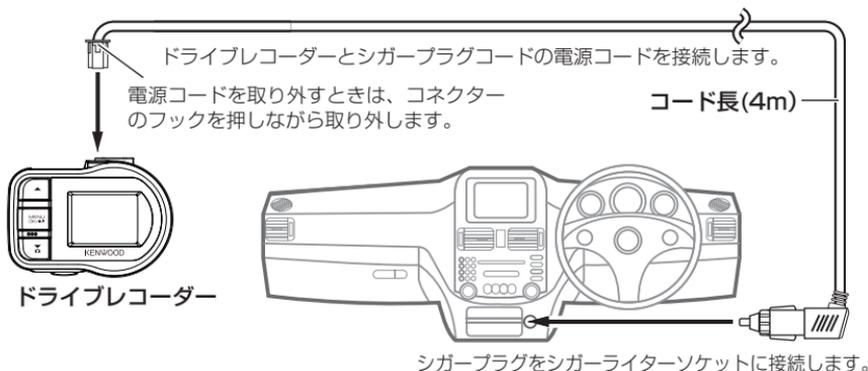
⚠ 注意

電源コードをフロントピラーなどに通すときは、下記の点に注意して配線してください。

- ・電源コードとエアバッグが干渉しないようにするため、電源コードがエアバッグよりも前方または上方になるように配線してください。
- ・フロントピラーカバーが特殊クリップ等で固定されている車両の場合は、フロントピラーカバーを外すとクリップの交換が必要となる場合があります。フロントピラーカバーの外しかたや交換部品の有無など、詳しくは車両販売店にお問い合わせください。
- ・電源コードは、運転操作の妨げにならないよう市販のソフトテープ等でまとめてください。

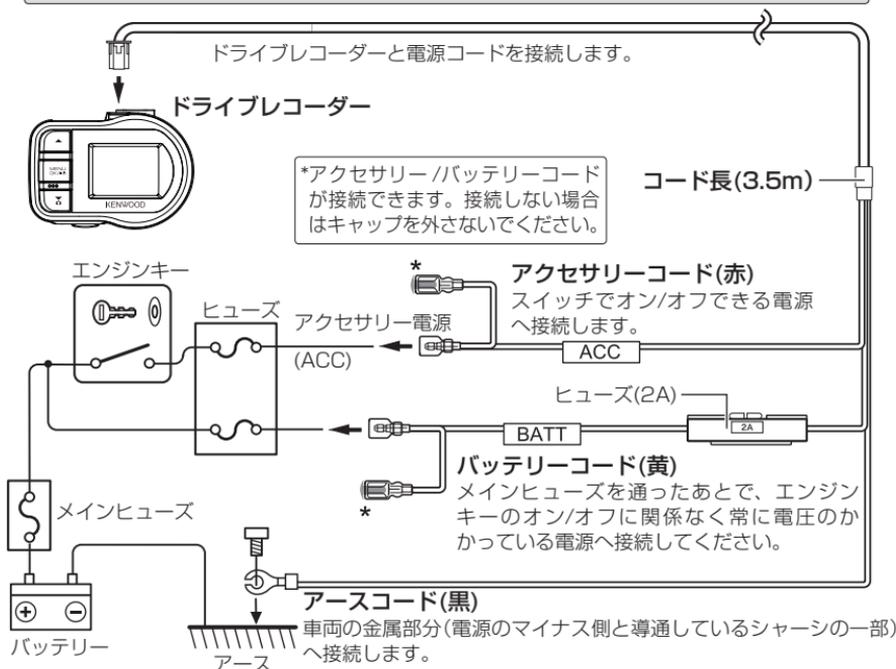
配線のしかた

シガープラグコード(付属品)の接続

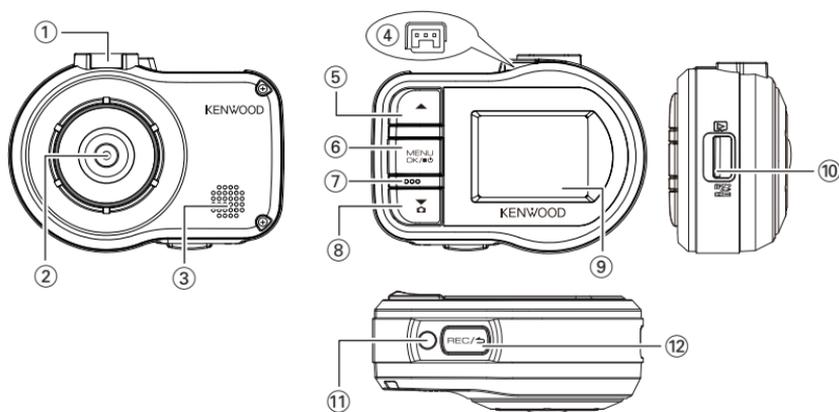


ドライブレコーダー用電源ケーブル (オプション : CA-DR100)の接続

注意 接続作業を行うときは、初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。



各部の名称とはたらき



- ① **ブラケット取付部**
付属の取付ブラケットを取り付けます。
- ② **カメラレンズ**
- ③ **スピーカー**
音声ガイドや警告音、ファイルの再生音声を出します。
- ④ **電源コードコネクター端子**
付属のシガープラグコードまたは、別売品のドライブレコーダー用電源ケーブル (CA-DR100) を接続します。
- ⑤ **▲ボタン**
・ファイル再生中は押すと前のファイルを再生します。
・ファイル再生中に押し続けると早戻し、再生一時停止中に押し続けると逆スロー再生をします。ボタンを離すと早戻しのときは再生、逆スロー再生のときは一時停止します。
・メニュー表示中は前項目に移動します。
- ⑥ **MENU/OKボタン**
・押し続けると本機の電源をオン/オフします。
・メニュー画面を表示します。
・メニュー表示中は決定ボタンとして働きます。
・25秒以上押し続けると、本機をリセットします。
- ⑦ **マイク**
録画中の音声を収録します。
- ⑧ **▼ボタン**
・常時録画(連続録画)中に押すと写真を撮影します。
・ファイル再生中は押すと次のファイルを再生します。
・ファイル再生中に押し続けると早送り、再生一時停止中に押し続けると正スロー再生をします。ボタンを離すと早送りのときは再生、正スロー再生のときは一時停止します。
・メニュー表示中は次項目に移動します。
- ⑨ **モニター画面**
- ⑩ **SDカードスロット**
録画するSDカードを挿入します。
- ⑪ **インジケーター**
本機が電源オンのときに点灯します。
- ⑫ **REC/⏏ ボタン**
・常時録画(連続録画)中に押すと手動録画を始めます。
・ファイル再生中は押すたびに一時停止/再生を切り替えます。
・ファイル再生中やメニュー設定中に押し続けると、常時録画に戻ります。
・メニュー表示中はキャンセル、戻る、または終了ボタンとして働きます。

運転支援機能を使用する前に

車両に合わせて調整する

運転支援機能を使用する前に、本機の路面からの取付高さや車両に合わせて、地平線やボンネットの先端位置を調整します。

1. [MENU/OK] ボタンを押す

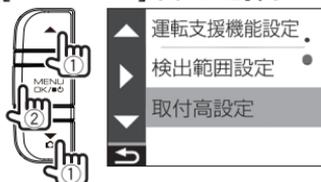
MENU (メニュー) を表示します。



2. [▲]/[▼] ボタンを操作して <運転支援機能設定> 選択し [MENU/OK] ボタンを押す



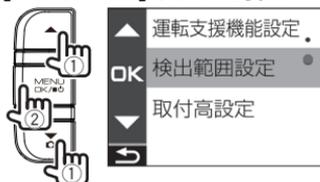
3. [▲]/[▼] ボタンを操作して <取付高設定> 選択し [MENU/OK] ボタンを押す



4. [▲]/[▼] ボタンを操作して 路面からの取付高さを選択し [MENU/OK] ボタンを押す



5. [▲]/[▼] ボタンを操作して <検出範囲設定> 選択し [MENU/OK] ボタンを押す



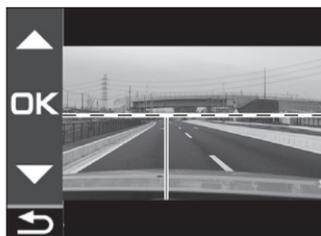
6. [MENU/OK] ボタンを押す

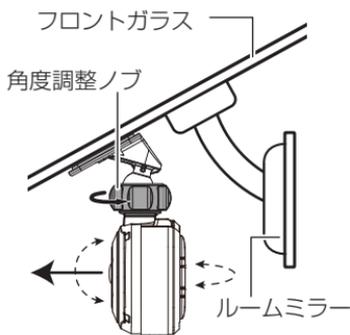


7. 本機の取り付け角度を調整して固定する

調整前に角度調整ノブを右に回しておきます。取り付け角度を調整するときには、カメラの視野が水平な地面と平行であり、また空と地上との比率が同じであることを確認してください。赤色の縦線は走行車線の中心に合わせてください。取付角度を調整したら、取付ブラケットの角度調整ノブを左に回して固定します。

調整例





- 取付高設定は乗用車/小型SUV：1.2m、大型SUV/ワンボックスカー：1.35m、大型トラック：2mを目安に設定してください。
- ボンネットの先端が映像に表示されない場合は、ガイド線(白線)を画面の一番下まで下げてください。
- お買い上げ時の運転支援機能は"OFF"に設定されています。(→ P.22)

水平のガイド線(白点線)を微調整する場合

[▲]/[▼]ボタンを操作してガイド線(白点線)を地平線に合うように微調整して[MENU/OK]ボタンを押す

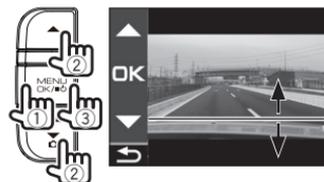
図のように調整します。



8. [MENU/OK]ボタンを押す

[▲]/[▼]ボタンを操作してガイド線(白線)をボンネット先端に合うように調整して[MENU/OK]ボタンを押す

図のように調整します。



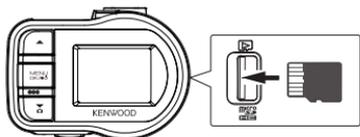
9. [REC/➡]ボタンを押し続けて終了する



基本操作

SDカードを入れる/取り出す

本機の電源をオフにしてから、SDカードスロットにカチッと音がするまでSDカードを挿入します。カードの向きに注意してください。



取り出すときは、本機の電源をオフしてからSDカードを押して、SDカードがポップアップしたら引き抜きます。



- SDカードのフォーマットは必ず本機で行ってください。
- SDカードのフォーマットを行うと、保護したファイルを含むすべてのファイルが消去されます。

電源をオン/オフする

車両のアクセサリ電源(ACC)スイッチをオン、またはエンジンをかけると本機の電源がオンし、常時録画(連続録画)が始まります。アクセサリ電源(ACC)がオフになると電源がオフし駐車録画モードになります。*

手動で電源をオン/オフするときは...

- アクセサリ電源(ACC)がオンのときは、本機の電源を手動でオン/オフできます。
- 本機がオン中に[MENU/OK]ボタンを3秒以上押し続けると電源がオフになります。
 - 本機がオフ中に[MENU/OK]ボタンを1秒以上押し続けると電源がオンになります。



- *オプション: CA-DR100の電源接続が必要になります。
- 手動での電源オフ時は、待機のための電力が消費されます。
- 一部の輸入車など、エンジンを切ってもシガーライターソケットの電源が切れない車種があります。バッテリー保護のため、降車時はシガープラグを抜いてください。

SDカードをフォーマットする

SDカードを使用するときは、はじめに本機でフォーマット(初期化)します。

1. SDカードをSDカードスロットに入れる
2. [MENU/OK]ボタンを押す
MENU (メニュー)を表示します。



3. [▲]/[▼]ボタンを操作して<SDカード初期化>を選択し[MENU/OK]ボタンを押す



4. [▲]/[▼]ボタンを操作して<OK>を選択し[MENU/OK]ボタンを押す



5. [MENU/OK]ボタンを押して終了する



録画モード

本機には4つの録画モードがあります。本機の電源がオンになると常時録画(連続録画)を開始します。録画した映像を、SDカードにファイルとして記録します。録画ファイルは、録画モードごとに別々のフォルダに振り分けられます。

常時録画(連続録画)

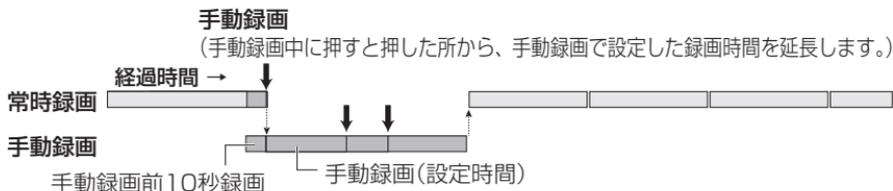
本機の電源がオンになると、常時録画(連続録画)を開始します。常時録画では、SDカードの録画領域がなくなると古いファイルから順に消して録画を続けます。



- 録画データは常時録画フォルダに保存されます。
- 「常時録画ファイル長」で1ファイルの録画時間を設定できます。(→ P.21)

手動録画

常時録画(連続録画)中に、本機の[REC/⏏]ボタンを押すと、手動録画を開始します。手動録画の録画時間は手動録画前の10秒と、「手動録画時間」で設定した時間を録画します。(→ P.21) 録画時間の延長をしたいときは、続けて[REC/⏏]ボタンを押します。手動録画が終了すると常時録画(連続録画)に戻ります。



- 録画データは手動録画フォルダに保存されます。
- 1ファイルの録画時間は最大1分です。録画時間が1分を超えるとファイルを分割して録画します。
- 手動録画は、10ファイルを超えると録画できません(SDカード 8GBの場合)。「上書き保存(手動)」を「ON」に設定すると古いファイルから順に消して録画します。(→ P.21) 保管しておきたい録画データは、必要に応じてパソコン等にバックアップしてください。

基本操作

イベント記録

常時録画(連続録画)中に、突発的な衝撃や予期しない衝突などを感知して、イベント記録を開始します。イベント記録の録画時間は、衝撃検出前の10秒と、「イベント記録時間」で設定した時間を録画します。(→ P.21) イベント記録が終了すると常時録画(連続録画)に戻ります。



- 録画データはイベント記録フォルダに保存されます。
- 1ファイルの録画時間は最大1分です。録画時間が1分を超えるとファイルを分割して録画します。
- イベント記録中に衝撃を検出すると、イベント記録は延長されます。
- イベント記録は、5ファイルを超えると録画できません(SDカード 8GBの場合)。「上書き保存(イベント)」を「ON」に設定すると古いファイルから順に消して録画します。(→ P.21) 保管しておきたい録画データは、必要に応じてパソコン等にバックアップしてください。

駐車録画(オプション: CA-DR100の電源接続が必要になります。)

アクセサリ電源(ACC)がオフになると本機の電源がオフして駐車録画になり、車両の衝撃を監視します。車両に衝撃を受けると本機の電源がオンになり、駐車録画が開始されます。駐車録画が終了すると本機の電源がオフになり、車両の衝撃監視に戻ります。



- 録画データは駐車録画フォルダに保存されます。
- 車両に衝撃を受けてから、数秒後に駐車録画が開始されます。
- 駐車録画のときは、モニター画面表示はされません。
- 駐車録画は、20ファイルを超えると録画できません(SDカード 8GBの場合)。不要なファイルを削除するか、保管しておきたい録画データは、必要に応じてパソコン等にバックアップしてください。ファイル数の超過は、録画画面のインジケーター「⑧ファイル数超過」で確認できます。(→ P.17)
- 駐車録画が行われた場合は、電源オン時に駐車録画が行われたことを画面でお知らせします。
- 駐車録画は、「録画時間」を「OFF」に設定すると録画できません。(→ P.21)
- ドアを閉めたときの振動を検出して、駐車録画することがあります。

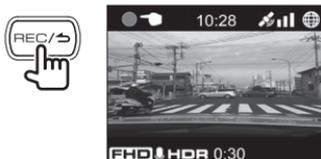
録画する

任意の場所で録画する(手動録画)

常時録画(連続録画)中に、本機の[REC]ボタンを押すと、好きなときに手動で録画できます。

1. [REC/⏏]ボタンを押す

手動録画を開始し、「手動録画の録画時間」で設定した時間が経過すると、常時録画(連続録画)に戻ります。



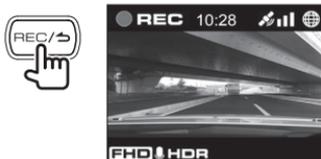
- 録画時間を延長したいときは、続けて[REC/⏏]ボタンを押します。
- 手動録画の録画時間は手動録画前の10秒と、「手動録画時間」で設定した時間を録画します。(→ P.21)
- フォルダやファイルの選択中、再生中、削除中、設定中は手動録画はできません。

任意の場所で録画する(強制録画)

ファイル再生中やメニュー表示中でも強制的に録画します。

1. [REC/⏏]ボタンを押し続ける

ファイル再生やメニュー表示を中断し常時録画(連続録画)に戻ります。



写真を撮影する

常時録画(連続録画)中に、本機の[▼]ボタンを押すと、好きなときに写真(静止画)を撮影できます。

1. [▼]ボタンを押す



- 複数写真を撮影したいときは、続けて[▼]ボタンを押します。
- ファイル再生中やメニュー設定中など録画をしていない状態のときは、写真撮影はできません。

録画面面のインジケーター



- 録画モード
- 時刻
- GPS受信状態
- 解像度 (3M:2304x1296、FHD:1920x1080、HD:1280x720)
- 音声記録
- HDR記録
- 手動録画/イベント録画残時間
- ファイル数超過(手動録画/イベント記録/駐車録画/写真)
- 写真撮影

再生する

ファイルを再生する

録画ファイルや写真などのファイルを選択して再生します。

1. [MENU/OK] ボタンを押す

MENU (メニュー) を表示します。



2. [▲]/[▼] ボタンを操作して <ファイル再生> を選択し [MENU/OK] ボタンを押す



3. [▲]/[▼] ボタンを操作して再生したいフォルダを選択し [MENU/OK] ボタンを押す

選択したフォルダ内にある最新のファイルの映像が表示されます。



常時録画	常時録画のファイルがあります。
手動録画	手動録画したファイルがあります。
イベント記録	イベント記録のファイルがあります。
駐車録画	駐車録画のファイルがあります。
静止画	撮影した写真のファイルがあります。

- ### 4. [▲]/[▼] ボタンを操作して再生したいファイルを選択し [MENU/OK] ボタンを押して [REC/▶] ボタンを押す
- 選択したファイルの再生が始まります。



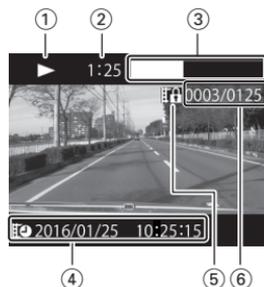
再生中に [▲]/[▼] ボタンを押すと前または次のファイル/写真を再生します。

常時録画(連続録画)に戻るときは...

[REC/▶] ボタンを押し続けます。

- ファイルは、録画または撮影した順番で並びます。
- フォルダやファイルの選択、または再生中は、録画が停止します。また、[REC/▶] ボタンによる手動録画も働きません。

再生画面のインジケータ



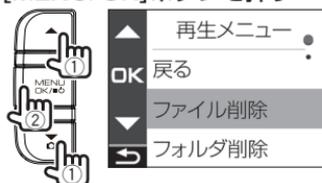
- ① 録画ファイル再生状態または写真ファイル表示
- ② 再生時間
- ③ 再生位置
- ④ 録画ファイル名日時
- ⑤ ファイル保護
- ⑥ 再生中ファイル番号/総ファイル数

ファイルを保護または削除する

再生メニューで操作する

イベント記録のファイルや写真などのファイルを保護したり、削除します。またフォルダ内のファイル全てを削除できます。

1. ファイルまたは、写真を選んで再生する
2. [MENU/OK] ボタンを押す
[▲]/[▼] ボタンを操作して項目を選択し
[MENU/OK] ボタンを押す



戻る	フォルダ選択に戻ります。
ファイル削除	保護されていないファイルを削除します。
フォルダ削除	フォルダ内の保護されていないファイル全てを削除します。
ファイル保護	ファイルを保護し、上書きや削除でもファイルが残ります。
ファイル保護解除	ファイルの保護を解除します。

3. [▲]/[▼] ボタンを操作して <OK> を選択し
[MENU/OK] ボタンを押す



4. [MENU/OK] ボタン押して終了する



- 常時録画(連続録画)ファイルは、保護できません。
- 保護ファイルを削除するときは、保護を解除します。
- SDカードのフォーマットを行うと、保護したファイルを含むすべてのファイルが消去されます。

各種設定をする

MENU (メニュー)で操作する

ファイル再生や動画記録設定などをメニュー画面で操作します。

1. [MENU/OK] ボタンを押す

MENU (メニュー)を表示します。



2. [▲]/[▼] ボタンを操作して項目を選択し

[MENU/OK] ボタンを押す



選択した項目によって、同じ操作を繰り返します。

3. [REC/⏪] ボタンを押し続けて終了する



・メニュー表示中は、「任意の場所で録画する(強制録画)」以外のときは、録画できません。(→ P.17)

手順2のMENU(メニュー)画面は、下記の順番で切り替わります。



ファイル再生



駐車録画設定



動画記録設定



運転支援機能設定



システム設定



SDカード初期化



システム更新

 ファイル再生	
常時録画	リスト画面から目的のフォルダを選択してファイルを再生します。
手動録画	(→ P.18)
イベント記録	また、ファイル再生中には、ファイルの保護や削除も行えます。(→ P.19)
駐車録画	駐車録画は、オプション: CA-DR100の電源接続が必要になります。
静止画	
 駐車録画設定	
録画時間	OFF/10秒*/20秒/30秒 衝撃感知後の駐車録画の録画時間を設定します。
上書き保存	ON*/OFF 録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きを するかしないかを設定します。
感度設定	1 (低)/2/3 (中)*/4/5 (高) 駐車中の車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1(大きな衝撃で検知します) — 3(標準) — 5(小さな衝撃で検知します)
 動画記録設定	
音声記録	ON*/OFF 録画時にマイクの音声を記録するかしないかを設定します。
常時録画ファイル長	1分*/2分/3分 常時録画 (連続録画)の録画時間を設定します。録画時間毎に区切って 録画します。
手動録画時間	15秒*/30秒/1分 手動録画の時間を設定します。手動録画前の録画時間は10秒に設定さ れます。
イベント記録時間	15秒*/30秒/1分 衝撃感知後の録画時間を設定します。車両の衝撃を検出前の録画時間 は10秒に設定されます。
上書き保存(手動)	ON/OFF* 録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをす るかしないかを設定します。
上書き保存(イベント)	ON/OFF* 録画ファイル数がいっぱいになったときに古いファイルに上書きをす るかしないかを設定します。
解像度	3M (2304 x1296)/1920 x1080*/1280 x720 録画する解像度を設定します。
HDR記録	ON*/OFF ONに設定すると、明暗差の大きなシーンの撮影も白とびや黒つぶれを抑え て被写体を録画します。解像度が3Mのときは、HDRはONに設定できません。
感度設定	1 (低)/2/3 (中)*/4/5 (高) 車両の衝撃を検出する感度を設定します。 1(大きな衝撃で検知します) — 3(標準) — 5(小さな衝撃で検知します)

各種設定をする

 運転支援機能設定	
前方衝突警告	ON/OFF* 自車と前方車両との距離を検出して、安全な距離が保たれていない場合に、前方車両との接触事故を防ぐため警告音でお知らせします。30Km/h以上で動作します。
車線逸脱警告	ON/OFF* 走行している車線を検出して、現在の車線からはみだしを警告音でお知らせします。60Km/h以上で動作します。
発進遅れ警告	ON/OFF* 自車が前方車両の後ろに停止した後、前方車両が発進したときに、自車の発進の遅れを警告音でお知らせします。自車が後退(バック)しているときなどにも、警告音が鳴るときがあります。
検出範囲設定	運転支援機能を使用する前に車両にあった水平線やボンネットの先端位置を調整します。(→ P.12)
取付高設定	1.2m*/1.35m/2m 本機を取り付けた路面からの高さを設定します。(→ P.12)
 システム設定	
日付と時刻	自動*/手動 日付と時刻を自動または手動で設定します。(→ P.23)
サマータイム	OFF*/+1時間/+30分 サマータイムを設定します。
報知音音量	6段階(消音~最大)で報知音の音量を設定します。
再生音量	6段階(消音~最大)で録画映像の再生音の音量を設定します。
モニター表示時間	常時表示*/10秒/1分/3分 画面の表示時間を設定します。
言語/Language	日本語*English メニュー画面などの表示言語を切り替えます。
単位選択	km/h*/MPH キロメートルまたはマイル表示に切り替えます。
出荷時設定	本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
システムバージョン	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
 SDカード初期化	全てのファイルを消去し、SDカードをフォーマットします。(→ P.14)
 システム更新	本機のファームウェアを更新します。

システムのアップデートについて

本機のシステムファームウェアを更新します。アップデートに関する情報は、当社ホームページ <http://www.kenwood.com/jp/cs/car/> をご覧ください。

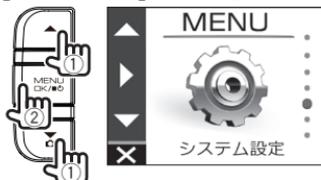
日付と時刻を設定する

本機の日付と時刻を設定します。

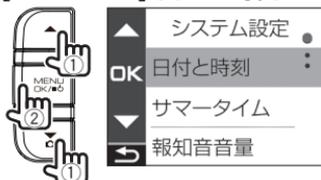
1. [MENU/OK] ボタンを押す
MENU(メニュー)を表示します。



2. [▲]/[▼] ボタンを操作して
<システム設定> を選択し
[MENU/OK] ボタンを押す



3. [▲]/[▼] ボタンを操作して
<日付と時刻> を選択し
[MENU/OK] ボタンを押す



4. [▲]/[▼] ボタンを操作して
項目を選択し
[MENU/OK] ボタンを押す



自動	GPS衛星から受信した時刻によって、自動で日付と時刻を設定します。
手動	手動で日付と時刻を設定します。

5. 時差設定または日時設定をする

[▲]/[▼] ボタンを操作して
時差または日時を選択し
[MENU/OK] ボタンを押す
自動を選択したときは、時差設定を表示します。日本国内では、時差設定を
<UTC+09:00>に設定します。



手動を選択したときは、日付設定を表示します。同じ操作を繰り返し日時を設定します。



6. [REC/右] ボタンを押して終了する



- 本機はGPS衛星から受信した協定世界時(UTC)を使用して自動的に日時を設定しています。日本標準時 (JST)は協定世界時より9時間進んでいます。
- 日付と時刻を自動的に設定した場合、GPS衛星の信号が正常に受信できるまでは、正しい時刻に設定されないことがあります。

PCアプリケーションを使う

KENWOOD DRIVE REVIEWERは、本機で録画した映像を表示するためのPCアプリケーションです。

アプリケーションソフトは、当社ホームページからダウンロードできます。

<http://www.kenwood.com/jp/cs/car/>をご覧ください。

ソフトをインストールする

1. PCにダウンロードしたアプリケーションソフトの<KENWOOD DRIVE REVIEWER_*.msi>をダブルクリックして画面上的指示に従い、KENWOOD DRIVE REVIEWER をインストールする

ファイルを再生する

1. SDカードを本機から取り外し、付属のSDカード変換アダプターに挿入してから、カードリーダー(市販品)を使用してPCに接続する。

KENWOOD DRIVE REVIEWER画面



2. KENWOOD DRIVE REVIEWERを起動する

3. ドライブ一覧からSDカードのドライブを選択する



パソコンに保存しているファイルを再生する場合は、ファイル(F)から<フォルダ>を選択する(S)>で、SDカードのドライブを選択してください。

4. [ファイル]、[イベント]、[PHOTO] タブから、再生したいファイルを選択し再生する

ファイル	全ファイルを表示します。
イベント	イベント記録、手動録画、駐車録画のファイルを表示します。
PHOTO	本機で撮った写真(静止画)を見ることができます。

5. 終了するときには、[X]ボタンまたはファイル(F)から<終了(X)>を選択する

① ファイル操作

ファイル選択や、SDカードのファイルをパソコンにバックアップするなど、ファイルの操作を行います。

フォルダを選択する(S)	SDカードのドライブを選択します。
kmz/kmlにエクスポート(E)	GoogleMapsTM地図サービス、GoogleEarthTM地図サービスで利用可能な走行情報ファイル(kml/kmz)を出力します。
バックアップ(B)	必要に応じてSDカードのデータをパソコンのハードディスクなどにバックアップします。
終了(X)	PCアプリケーションを終了します。

 (ドライブ一覧)
SDカードに保存されているファイルを再生する場合に使用します。

② 映像再生画面選択

再生している映像画面の上下左右の場所を拡大したり、任意の場所を拡大表示します。

	拡大表示したときに、押すと通常画面に戻ります。
	画面右上、左上、右下、左下を拡大表示します。
	表示される枠を動かして、任意の場所を最大5倍で拡大表示します。[リセット]を押すと等倍表示(1倍)になります。

③ 映像画面

選択したファイルの映像を表示します。再生バー操作すると、任意の場所に移動できます。また、再生中の映像画面をダブルクリックすると全画面表示に切り替わります。全画面表示中は、クリックすると通常画面に戻ります。

④ トラックバー/再生時間/総再生時間

⑤ 操作ボタン

映像再生、停止などの操作ボタンです。

	前または後のコマを表示します。
	1つ前または1つ後のファイルを再生します。
	再生を停止します。
	再生中に押すと一時停止します。もう一度押すと再生します。
	押したところで、映像をキャプチャーします。
	再生状態などの動作を表示します。
	再生速度を変更します。
	音量を調整します。

⑥ Gセンサーチャート

車の前後(X)、左右(Y)、上下(Z)方向の動きの加速度と車の速度を波形で表示します。

⑦ 再生中のファイルのパス

⑧ スピードメーター

車の速度を表示します。

⑨ ファイルリスト

選択タブで選んだファイルとサムネイルを一覧で表示します。



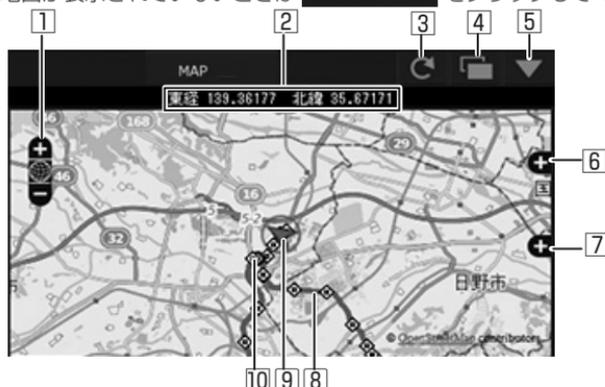
・車の速度は実際の速度とは異なり
ます。目安としてください。

PCアプリケーションを使う

⑩地図表示ボタン

⑨の見たいたいファイルをクリックすると、選択した動画ファイルの位置情報が地図上に表示されます。

地図が表示されていないときは **MAP ▲** をクリックしてください。



- ① 地図を拡大/縮小します。
- ② 緯度・経度を表示します。
- ③ 地図を再読み込みします。
- ④ 地図を別ウィンドウで開きます。
- ⑤ 地図を非表示にします。**MAP ▲** をクリックすると地図を表示します。
- ⑥ 地図上に表示される経路やアイコンの表示・非表示を選択できます。
- ⑦ 広域の地図で表示します。
- ⑧ 経路

2日以上の経路を表示しているときは、日ごとに色を変えて表示します。

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
青	赤	緑	白	桃色	水色	黄色

⑨ 選択中のファイルの自転車位置を表示します。

⑩ 各ファイルの先頭位置

アイコンにマウスカーソルを合わせるとファイルの先頭位置の映像が表示されます。クリックすると該当ファイルを再生します。

お知らせ

- ・メモリーカードの容量（常時録画）またはファイル数の制限（手動録画、イベント（衝撃）記録、駐車録画）によりファイルが消去されます。消去された部分については地図上に表示されません。
- ・地図上の自転車位置は本機に内蔵しているGPSを使用しています。ビル街、トンネル、高架下などGPS信号の受信環境が悪い場所の走行などでは、自転車位置が正しく表示されないことがあります。

映像から静止画を出力する

再生している映像から任意の場所の映像をキャプチャーして静止画として出力します。

1. 再生したいファイルを選択し再生する
2.  ボタンを押す
3. バックアップ先のフォルダを選択しファイル名を付ける



4. [保存] ボタンを押す

走行情報を出力する

GoogleMapsTM地図サービス、GoogleEarthTM地図サービスで利用可能な走行情報ファイル(kml/kmz)を出力します。

1. ファイル(F)から<kmz/kmlにエクスポート(E)>を選択する
2. バックアップ先のフォルダを選択し、ファイルの種類「KML/KMZ」を選択してファイル名を付ける



3. [保存] ボタンを押す



• 使用法は、GoogleMapsTM地図サービス、GoogleEarthTM地図サービスのヘルプをご覧ください。

ファイルをバックアップする

必要に応じてSDカードのデータをパソコンのハードディスクなどにバックアップします。

1. ファイル(F)から<バックアップ(B)>を選択する
2. バックアップ先のフォルダを選択する
3. 保存したいファイルにチェックマークをつけてバックアップするファイルを選択する



4. [実行] ボタンを押す

故障かな?と思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へご相談ください。

共通

症状	原因/対処方法
電源がオンにならない。	<ul style="list-style-type: none">・車両のシガーライターソケットの電源が入っていない。✓ 車両のアクセサリ電源 (ACC) スイッチをオン、またはエンジンをかける。✓ シガープラグの差し込みを確認してください。・ヒューズが切れている。✓ コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。・電源コードの接続が、間違っている。✓ お買い上げの販売店で接続を確認してください。・ヒューズ、配線は問題ないのに電源がオンにならない。✓ 「本機の異常にお気づきのときは」を参照して本機をリセットしてください。(→ P.7)
<ul style="list-style-type: none">・録画できない。・が画面に表示されている	<ul style="list-style-type: none">・SDカードが入っていない。・8GB ~ 32GB以外のSDカードを挿入した。・SDHC規格に準拠していないSDカードが挿入された。・SDカードがフォーマットされていない。✓ 本機で使用可能なSDカードをSDカードスロットに挿入してください。✓ 必要に応じてSDカードを本機でフォーマットしてください。・本機内部の温度が高温になっている。✓ 車内の温度を下げてください。保護回路が解除され録画ができる状態になります。

表示メッセージと音声ガイド

次のメッセージを表示した場合は、一覧に従って対処してください。

■マークのあるメッセージは、音声でも案内されます。

メッセージ	原因/対処方法
SDカードがありません■	<ul style="list-style-type: none">・SDカードが未挿入の状態電源をオンにした。・録画中にSDカードが抜かれた。✓ 「本機で使用できるSDカード」を参照して、本機で使用可能なSDカードをSDカードスロットに挿入してください。(→ P.32)

メッセージ	原因/対処方法
SDカードエラーです🔊	<ul style="list-style-type: none"> ・認識できないSDカードが挿入されている。 ✓「本機で利用できるSDカード」を参照して、本機で使用可能なSDカードをSDカードスロットに挿入してください。(→ P.32)
SDカードの初期化が必要です🔊	<ul style="list-style-type: none"> ・SDカードが認識できる形式でフォーマットされていない。 ✓必要に応じて「SDカードをフォーマットする」を参照してSDカードを本機でフォーマットしてください。(→ P.14)
初期化に失敗しました	<ul style="list-style-type: none"> ・SDカードが故障している。 ✓新しいSDカードに交換してください。SDカードには書き込み可能回数などの製品寿命があります。
非対応のSDカードです	<ul style="list-style-type: none"> ・8GB未満または32GBを超える容量のSDカードが挿入されている。 ✓「本機で利用できるSDカード」を参照して、本機で使用可能なSDカードをSDカードスロットに挿入してください。(→ P.32)
録画を中止しました🔊	<ul style="list-style-type: none"> ・SDカードを録画中に取り出した。 ・SDカードの不良により、録画ができなくなった。 ・何らかの不具合が発生して録画が中止された。 ・スピードクラスが適合しないSDカードを使用すると、録画が中断することがあります。 ✓SDカードを挿入しなおしてください。 ✓新しいSDカードに交換してください。 ✓「動画記録設定」の上書き保存を変更してください。(→ P.21) ✓適合するSDカードに交換してください。
SDカードの空きがありません	<ul style="list-style-type: none"> ・SDカードに常時録画を開始するために必要な空き容量が不足している。 ・手動録画やイベント記録の上限ファイル数分を録画するのに必要な空き容量が不足している。 ✓不要なファイルを、「ファイルを保護または削除する」を参照して削除してください。(→ P.19) ✓必要なデータをパソコン等にバックアップしてから、「SDカードをフォーマットする」を参照してSDカードを本機でフォーマットを行ってください。(→ P.14)
イベント記録失敗(ファイル上限)	<ul style="list-style-type: none"> ・「上書き保存(イベント)」が"OFF"で、イベント記録用フォルダの上限ファイル数に達した。 ✓「上書き保存(イベント)」を"ON"に設定すると古いファイルを消して録画します。(→ P.21)

故障かな？と思ったら

メッセージ	原因/対処方法
手動録画失敗(ファイル上限)	<ul style="list-style-type: none">・「上書き保存(手動)」が「OFF」で、手動録画用フォルダの上限ファイル数に達した。✓ 「上書き保存(手動)」を「ON」に設定すると古いファイルを消して録画します。(→ P.21)
静止画記録失敗(ファイル上限)	<ul style="list-style-type: none">・静止画の上限ファイル数に達した。✓ 不要なファイルを、「ファイルを保護または削除する」を参照して削除してください。(→ P.19)
ファイルが再生できません	<ul style="list-style-type: none">・何らかの原因で、再生できないファイルが録画された。・SDカードの不良により、データが読み取れなくなった。✓ 必要なデータをパソコン等にバックアップしてから、「SDカードをフォーマットする」を参照してSDカードを本機でフォーマットを行ってください。(→ P.14)
高温のため録画を中止します	<ul style="list-style-type: none">・本機の温度上昇により録画ができなかった。✓ 車内の温度を下げてください。保護回路が解除され録画ができる状態になります。
高温のため電源を切ります	<ul style="list-style-type: none">・本機の温度上昇により安全のため電源を切った。✓ 車内の温度を下げてください。保護回路が解除され録画ができる状態になります。
更新ファイルがありません	<ul style="list-style-type: none">・SDカードにファームウェアデータが存在しない。✓ 本機用ファームウェアデータをSDカードに入れてください。・SDカードにある更新ファイルが、現在のファームウェアバージョンと同じか、または古い。✓ 最新のファームウェアデータを入れてください。✓ 最新のファームウェアデータが入っている場合は、本機のファームウェアは最新ですので更新は不要です。
システムの更新に失敗しました	<ul style="list-style-type: none">・更新ファイルがSDカードから正常に読み出せなかった。・更新ファイルが壊れている。✓ SDカードを本機でフォーマットした後、もう一度更新データをSDカードにコピーして、再度更新操作を行ってください。

運転支援機能について

- ・運転支援機能は、ドライバーの運転をサポートするもので、事故を未然に防ぐものではありません。またすべての危険を通報するものではありません。
- ・運転時は交通ルールを守り、前方車との車間距離や周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じてブレーキをかけるなど安全運転に努めてください。また、本機を取扱説明書にしたがい正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・車線逸脱警告はウィンカーと連動しないため、本機の仕様上、道路で車線を変更するときにも警告音がなります。
- ・以下のような場合は、運転支援機能が正しく動作しない場合があります。
 - トンネルや高層ビル街などGPS信号が正しく受信できない場所
 - 舗装の劣化や降雨時の反射などにより車線が正しく認識できない場合。
 - 前方車両の形状や塗装色、光の加減などによって車両と認識できない場合。
 - 天候(雨・雪・濃霧など)、時間帯(朝方・夕方・夜間など)、逆光、交通状況(渋滞・歩行者など)による変化。

モニター画面について

- ・画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- ・画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- ・極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったり、残像が見えることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- ・画面に小さな点ができることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- ・液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

GPSについて

- ・本機の電源がオンするとGPS測位を始めます。GPSの測位状況によっては、測位が完了するまで、5分程度かかる場合があります。
- ・GPS衛星信号は、固体物質(ガラスを除く)を通過することができません。トンネルや建物の中にいる場合、GPS測位は使用できません。信号の受信は、悪天候や密集した頭上の障害物(例えば、樹木、トンネル、高架橋または高層ビル)などの状況の影響を受ける可能性があります。GPS衛星信号が正しく受信できないときは速度や位置情報などが正しく表示されません。
- ・GPS 測位データは、参考値です。
- ・GPSは、GPSの性能について全責任を負う、米国政府によって運営されています。GPSシステムへの変更は、すべてのGPS装置の精度に影響を与える可能性があります。

商標、ソフトウェアに関する重要なお知らせ

- ・microSDHCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- ・© 2015 Google Inc. All rights reserved. GoogleMapsTM地図サービスおよびGoogleEarthTM地図サービスは、Google Inc. の登録商標です。
- ・本製品は AVC Patent Portfolio License に基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
 - 1)消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC Video)を記録する場合
 - 2)AVC Video (消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、またはMPEG LA よりライセンスを取得したプロバイダが記録したもの)を再生する場合詳細については、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。
<http://www.mpegla.com/>

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品は第三者が規定したソフトウェア使用許諾契約に基づくソフトウェアコンポーネント(許諾ソフトウェアと呼びます)を使用しております。詳細は<http://www.kenwood.com/jp/cs/car/>の本製品サポート情報をご覧ください。

付録

SDカードについて

本機で使用できるSDカード

規格	microSDHC
容量	8GB ~ 32GB
スピードクラス	Class 6以上
ファイルシステム	FAT32

- ・スピードクラスはClass 10まで対応しています。

SDカード使用上のご注意

- ・市販のSDカードを使用するときは、SDカードに付属している取扱説明書もあわせてご確認ください。
- ・SDカードのフォーマット(初期化)は必ず本機で行ってから使用してください。
- ・SDカードには書き込み可能回数などの製品寿命があります。使用状況に応じて定期的に新品に交換することをお勧めします。
- ・SDカードを着脱するときは、方向を確認し折り曲げたり、強い圧力や衝撃を与えないでください。
- ・端子部分に直接手を触れたり、金属を当てたりしないでください。静電気により、記憶されているデータが破損、消失するおそれがあります。
- ・SDカード内の必要なファイルは必ずパソコンなどにバックアップ(コピー)をしてください。SDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存ファイルが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

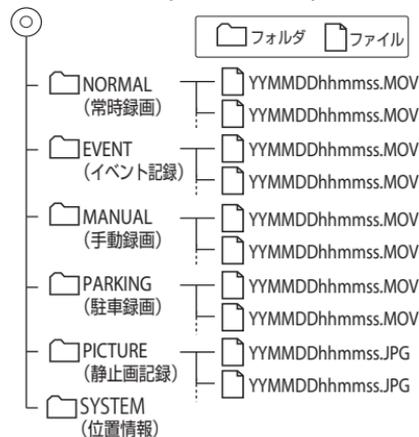
SDカードを破棄/譲渡するときのお願い

- ・本機のSDカード初期化や削除、パソコンの機能によるフォーマットでは、ファイルの管理情報が変更されるだけで、SDカード内のデータは完全に消去されません。廃棄/譲渡の際は、SDカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってSDカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。SDカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

フォルダ/ファイル構成

SDカードに録画したデータには、項目毎のフォルダにまとめられ、ファイル名には月日、ファイル番号の順に自動的に付けられます。

ルートフォルダ (JVCKENWOOD)



ファイル名表記について

YYMMDDhhmmss.MOV または .JPG
年 月 日 時 分 秒



SDカード内にあるファイルをパソコンなどで変更または削除しないでください。本機やPCアプリケーションで正しくファイルが再生できなくなることがあります。

録画時間

録画画質	カード容量		
	8GB	16GB	32GB
3M (2304 x 1296)	50分	100分	210分
1920 x 1080	70分	140分	280分
1280 x 720	100分	200分	400分

- ・上記の録画時間は、常時録画、手動録画、イベント記録、駐車録画の合計(最大)です。
- ・録画時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

録画ファイル数

録画モード	カード容量		
	8GB	16GB	32GB
イベント記録	5ファイル	10ファイル	20ファイル
手動録画	10ファイル	20ファイル	40ファイル
駐車録画	20ファイル	40ファイル	80ファイル
静止画記録	100ファイル	200ファイル	400ファイル

- ・常時録画ファイル数は、録画されたイベント記録、手動録画、駐車録画の数によって変わります。
- ・イベント記録、手動録画、駐車録画は「各種設定のファイルの上書き保存」を「ON」に設定すると古いファイルを消して録画します。必要なファイルはパソコン等にバックアップしてください。

KENWOOD DRIVE REVIEWER動作環境

Windows版

対応OS	Windows 7 Service Pack 1 (32bit/64bit) Windows 8.1/8.1Pro (32bit/64bit) Windows 10 (32bit/64bit)
画面解像度	1280x800以上
CPU	Core i3 2GHz以上
メモリ	2GB以上
HDD	500MB以上の空き領域
その他	.NET Framework 4.0または4.5がインストールされていること (Windows 7/8/10の標準インストールでは.NET Frameworkは、インストール済みです)。

Mac OS X版

対応OS	Apple Mac OS X 10.11 (El Capitan)以上
------	-------------------------------------

仕様

画面サイズ

1.5インチ 11万画素フルカラー TFT

撮影素子

1/3型 カラー CMOS

最大記録画角

水平：約117度、垂直：約63度
(対角128度)

レンズ

広角、F値 2.0

記録解像度(最大)

動画最大 298万画素
2304 x 1296 (1296P)
1920 x 1080 (1080P)
1280 x 720 (720P)

フレームレート

27 fps

記録方式

常時録画/イベント記録/手動録画/
駐車録画*

衝撃感知前後録画時間

前10秒、後15/30/60秒(最大70秒)

常時録画ファイル長

1/2/3分

音声記録

あり(ON/OFF可能)

録画ファイル

動画

記録方式: MOV
映像: H.264/MPEG-4 AVC
音声: Linear PCM

静止画

JPEG (最大2304 x 1296)

記録映像再生方法

本体、もしくはWindows標準のWindows Media Player、Quick Timeなど専用ビューワーソフト対応(当社ホームページよりダウンロード)

記録メディア

microSDHC card
8 ~ 32GB対応(Class6以上)

GPS

内蔵

Gセンサー

内蔵

衝撃感度

-4.0G ~ +4.0G (0.1G単位)

電源電圧

12V (8.5 ~ 16V)

消費電流

200mA (最大720mA)

動作温度範囲

-10℃ ~ +60℃

外形寸法 (幅) x (高さ) x (奥行)

77 x 56 x 35mm (突起物除く)
ブラケット装着時の高さ：93mm

質量 (重さ) microSDHCカード装着時

約 81g (コード含まず)

付属品

シガープラグコード(4m)x 1
取付ブラケット(両面テープ)x 1
microSDHCカード(8GB)x 1

- *オプション: CA-DR100の電源接続が必要になります。
- モニター部は、高精度の技術で作られておりますが、一部に非点灯、常時点灯の表示(画素)が存在することがあります。(故障ではありません。あらかじめご了承ください。)
- これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

■ 保証について

保証書 この製品には、保証書を添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間 お買い上げの日より1年です。

■ 修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

・ ホームページ

<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

・ JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)

0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)

045-450-8950 (一部IP電話など) 受付時間などは裏表紙を参照してください。

■ 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(→ P.28)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- ・ 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- ・ 本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

技術料: 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代: 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります



正しい取付け
正しい操作で
安全運転

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHS からはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部 IP 電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜: 9:30 ~ 18:00
土曜: 9:30 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。